

第1回安城市地区公園基本構想策定委員会 議事録

日時:令和7年1月16日(木) 午後3時~5時

場所:へきしんギャラクシープラザ 202 会議室

【出席委員】

伊藤孝紀	名古屋工業大学大学院工学研究科准教授
近藤早映	三重大学大学院工学研究科 准教授
	東京大学先端科学技術研究センター准教授
吉武 駿	信州大学大学院総合理工学研究科助教
青木奈美	株式会社ザ・ソーシャル 代表取締役
粟田雅貴	愛知県都市・交通局都市基盤部公園緑地課長
水野正二郎	安城市都市整備部長

【議事】

1. 柿田公園

- (伊藤会長) クリエイティブに話していきましょう。
- (近藤委員) 柿田公園は、平日休日ともに子どもたちやファミリーが遊びに来ていると伺いました。すぐ脇に小学校があり、正門から一直線にこの公園に突き当たるといふことで、学校帰りのお子さんも遊んでいると伺いました。そのように利用されているのは、非常に良いと思います。
- (伊藤会長) 小学校が近い、住宅地の中にある、といった特徴を踏まえて、先生方の経験の中から何か参考になる事例はありますか。
- (吉武委員) 4つの公園の中でかなり現代的に整備されている公園という認識をしています。そういった意味では、あまり大きな整備をしなくとも、活用の仕方であまり使えるポテンシャルがあるかなと感じています。イベントで一度、利用をされたことがあるといふことで、もっと広く使いたいと言った意見などがあれば教えてください。
- (事務局) 柿田公園で初めてのマルシェであったため、小規模に実施したと伺っています。また、駐車場が隣接する北部公民館と共有になっており、駐車可能台数が少ないため、イベントを行うことで公民館に迷惑をかけることを懸念されていました。また、園路の入口が非常に狭いので入りにくい、まとまった平場が少ないとのご意見もありました。
- (伊藤会長) 本委員会では、将来像を提示していかなくてはいけないので、海外ないしはほかの地域の事例の中で、小学校が近くて、住宅街の中ですごく活用されている公園を、皆さんからご提示いただければと思います。
- (水野委員) 柿田公園の追加の情報として、道路を挟んだ西側に緑地があること、二級河川猿渡川が近くにあること、公民館に隣接していることがあります。このような

要素を踏まえてご提案をいただきたいと考えています。

(青木委員) 柿田公園はすごくきれいな公園だなと思いました。名古屋にある公園と比べてもすごく素敵で、アンケート結果も8割の方が満足していらっしゃるということなので、大幅に変えることは必要なのかなと思いました。日陰が少ないなど、皆さんの使い勝手みたいなところは、改善を考える余地があると思います。私たちの会社は、マーケットイベントをやっていますが、そういった視点から柿田公園を見ても、すごく使いやすい公園だなと思います。これだけスペースがあれば、すごく自由に、いかようにでもイベントができるのではないかと思います。公園の要素をもう少し細かく見ていくと、今のままだでも使い勝手が良くなるのではないかと思います。

(伊藤会長) すごく良い着目点だと思います。構想だから、未来だから、将来だからと何かすごいものをつくろうとする必要性はないかなと思います。市民の皆さんが使いやすいするためにはどうするか、自分たちの関わりしろが多くなるようにするためにはどうするか、というところがポイントであるため、アクロバットなことをすることが回答ではないと私も思っています。

(近藤委員) 私が今まで感動した公園の1つに各務原市の「学びの森」があります。柿田公園は、学びの森のコンセプトと非常に近いものがあるかなと思います。学校が近く、自然環境を学ぶということを1つのテーマに掲げられて指定管理されているとのことで、学びの要素がとても詰まった公園だと私は認識をしています。柿田公園は、何かの施設をハード整備する必要はないのではないかなということですが、そうだとすると、全体としてコンセプトをつけてあげると利用者の意識が変わるかなと思います。学びの要素を1つのコンセプトにするのもありだなと思いました。

(伊藤会長) 今の発言にちょっと加えるように私も発言したいのですが、デンマークに行くと、何かすごいものがあるわけではないのですが、うまく起伏をつくっており、1人でたたずんだり、数人で何かをできる場所があります。1mにも満たないようなちょっとした土手が寝そべるところになっていたり、もう少し深くすると何人か囲えるようになっている場所があったりします。フラットの方がイベントはしやすいかもしれませんが、もう少し起伏をつけてあげると、子どもたちが学習をするような仕掛けにもなるし、自分の居場所を見つけることができます。日本の良くないところはベンチを置くことです。ベンチを置くと1人か2人しか座れなくて、対面にならないですね。遊具も、僕は否定的で、シンプルな遊具があるのは良いと思いますが、大きな複合遊具だけを置いて目玉とするのは、ぜひやめてほしいと思っています。起伏をうまく作っていくことで、環境学習の場所、市民の居場所みたいになっていくので、そのようなリメイクぐらいはありかなと思っています。

(吉武委員) 今の伊藤会長のご意見に合わせる形になりますが、単一の目的のための遊具などが整備されているところが多いことに対して、起伏を設け、それが遊具に

なったり、座る場所になったり、役割を兼ねるという考え方は、ランドスケープとしては非常に大事な観点になると思います。大きく変えるというよりも、そういった部分を整えていくという感覚で、この柿田公園の将来図を考えていければ良いと思います。

(水野委員)

各務原の学びの森は、どのようなところが魅力なのでしょう。

(近藤委員)

ここから公園ですという仕切りをあまり感じさせなく、駅を降りて歩いて公園に向かっていると、いつの間にか公園に入っているというアプローチが魅力的です。大概、ここから公園ですという仕切りがありますよね。この公園は仕切りが比較的なく、境界を感じられない部分が良いと思いました。もう1つは、遊具がないことです。私が行ったときも、いろいろな人たちが遊んでいましたが、皆さん創意工夫して遊んでいました。遊具がないからという因果関係はありませんが、吉武委員もおっしゃったように、そういう一義的ではない多義的な使い方を創発させるような空間が学びの森にはある、というところが素晴らしいと思います。遊具がないだけでなく、ビオトープがあり、起伏もあり、この起伏をうまく使って各スペースの使い方を考えられているので、ランドスケープ的にも非常によく考えられた空間だなと感動しました。

(水野委員)

柿田公園は、フェンスがあるわけではなく、自然に公園に入れるようになっていと思うのですが、あれ以上に何かできる仕掛けはありますか。

(近藤委員)

アプローチの話をしていただきましたが、学びの森へ向かう舗装が、いわゆるアスファルトではなく、公園と地続きなイメージを浮かばせるような感じでした。柿田公園は、確かに物理的な境界はないですが、視覚的な境界はあるため、そこは改善の余地があるかもしれません。

(伊藤会長)

確か学びの森は、洗い出し舗装になっていて、普通のアスファルト舗装と違いましたよね。舗装を変えるだけでも、子どもたちが少し歩きやすくなることや五感に刺激があることは良いと思います。それと公民館と管理事務所ですが、建物ももう少しオープンにするために改築した方が良いと思います。せっかく公園に面している建物なのに閉鎖的でもったいない。もちろんイベントとか、屋外で何かやる時の日除けになるところは追加した方が良いと思います。公民館と管理事務所がもっとオープンになって、デッキテラスとかがあって、オーニングが出てきて、そこにカフェテラスとかがあると、必然的に大人たちはそこで過ごして、子どもたちは目の前の広場で自由に走り回れる空間になるため、建物もこの機に変えた方が良いと思います。Park-PFIを想定するのであれば、おそらく公民館や管理事務所とのマッチングをさせないと、事業者として手が挙げられないと思います。事業内容としては、環境学習をやることと、この地域の住民の人たちにニーズがあるものを行うこと。例えばパン屋さんが近くにないため、パン屋が欲しいということならば、そういうことにチャレンジできる小さいブースを建設したり、公民館や管理事務所の中にそれを導入するなど、事業採算と周辺の人たちのニーズを加味しながら構想を描いていった

方が良いと思います。

(近藤委員) もしかしたら、この公民館の建物を Park-PFI のスキームで建て替えるというのがあるかもしれないと思います。

(粟田委員) 今日の皆さまの意見も含めた印象からすると、柿田公園は外部から新たなお客さんを入れるというよりは、地域で愛される公園として使う方が良いと思いました。近くに小学校があることから、子どもたちも日常的に使っており、そこに親も引き込まれる公園なのだと思います。なので、土日とかに公園に集う仕掛けづくりをするのであれば、例えばフリーマーケットやキッチンカーなど、やれることからやってみることで、地元の人に常に来ていただける習慣性を生み出してから、Park-PFI の話に展開しても十分ポテンシャルはあると思っています。また、住宅地が多くあるにもかかわらず、近くにパン屋などの食べ物屋さんがないため、公園に行くのではなく、食べ物屋に行く、というきっかけでの来園があっても良いのではないかと思います。それから管理事務所の壁を取っ払って公民館側に開くことで、一体的な公共施設の利用も可能になると思いました。管理事務所の中で拝見した環境学習施設には水槽に生き物がいましたけれど、そこで完結していてすぐもったいないと思いました。すでに実施されているかもしれませんが、せせらぎ等での生き物観察や環境学習をNPOの力をもっとお借りしながら活動すれば、指定管理者だけではできない部分も広がっていくと思いました。それだけのポテンシャルを持っている公園なので、もっと活かせばいいのに、という印象を持ちました。

(伊藤会長) このような活動の受け皿になるのも、公園の1つの役割なのだと思います。

(青木委員) やれることをやっていくというご意見には本当に賛成で、マーケットイベントをやってみることで、このエリアでどのようなお店が欲しいと思われているのかを間接的にリサーチもできたりします。建物を改修するときに導入するお店を選定する1つの材料になるかと思えます。

(伊藤会長) 確かに、マーケットイベントがモニタリングとなって、どのような需要があるかを把握することができることは良い形ですね。

(吉武委員) 水景施設の扱いが非常に大事かと思えます。かなり具体的な話になりますが、ここは少し高い位置に水景施設があり、空間的にしっかり見直す必要があるかと思っています。

(伊藤会長) 元々ある水景施設の高低差がよくないということですか。位置がよくないということですか。

(吉武委員) 高い方にある水景施設は、ポンプでくみ上げていると伺っています。グラウンドにあるせせらぎと一体的に自然流水で水辺を作ることができれば、ポンプ等の維持管理が比較的少ない水辺がつかれると思います。ポンプを置いてしまうと、今後の負担にもなりうるし、空間的なバリアにもなるかと思えます。

(伊藤会長) 確かにポンプに頼らず、自然の中の動きの方が環境にもやさしく、今後の維持管理のところでもマイナス要素にならないということですね。井戸水が出てい

ることは良いですね。このようなものに、子どもたちが触れるのも大事だと思います。

柿田公園の最後に、今回はかなり限定した公園のテーマや公園のデザインに落とし込んでいくことが予見されるため、何かエッジを利かせても良いと思います。公園のみで考えるのではなく、周辺との関係や隣接する建物なども含めて、計画に入れることで、初めてまちづくりとしての公園の意義につながっていくと思います。このようにまとめていただければと思います。

2. 秋葉公園

- (伊藤会長) 質問があります。道路を挟んだ向かいにある安祥閣は、市財として Park-PFI に活用することや改築することを言うと問題になりますか。安祥閣も入れて考えた方がリアリティはあると思います。
- (事務局) 公園の施設ではないため、担当課と調整が必要になります。
- (水野委員) 地区公園のよくある課題として駐車場の問題があると思います。住宅地にある、歩いて行ける公園において、駐車場を確保する必要があるかということについて教えてください。
- (吉武委員) 地区公園なので、徒歩圏内の利用で考えると、駐車場はさして必要ないかと思いますが、もう少し大きい話として、近隣公園、地区公園、運動公園と合わせて縦に並んでいる公園というところで、それぞれに明確な位置づけをしているのであれば、堀内公園のように駐車場を設けても良いかと思います。
- (伊藤会長) 方向性ですよね。近隣住民の利用に重きを置くか、建物などもつくって Park-PFI を展開する場合は、駐車場を整備してあげないと事業者は困ると思います。将来像の振り方次第かと思います。
- (近藤委員) 秋葉公園は森という印象を受けましたが、実際に中に踏み込んでみると植生がすごくバラバラだと感じました。その辺をそろえてあげることが環境整備としてあっても良いかと思いました。あと、樹木が鬱蒼とし、なおかつ、かなり起伏があり、中に一步踏み込むと、ここが市街地であることを忘れるような感覚は、ぜひ利用したら良いと思います。例えば、都心で流行っているプレイパークのように、子どものための活用を考えると良いと思います。特に、ひょうたん池の南側は、分け入るのが楽しそうな空間があり、プレイパークのような利用が可能ではないかと思いました。
- (伊藤会長) そうですね。森の植生みたいなものは、活かしたいと思いますよね。
- (栗田委員) 秋葉公園の植生は、自然植生ではなく、植樹したものだと思われるため、自然環境として整えるのは難しいと思います。40年以上経過しており、かなり木と木が重なり合い、木自身が生きようとする部分で喧嘩している状態に見受けられたので、そろそろ大きな木であっても、何を残すか、生かすかという部分で、本格的に樹木管理に手を入れると良いかと思いました。その中で、樹林の間を遊び回るプレイパークは、すごく子どもに喜ばれるかなという印象を持ちました。あと、安祥閣は設置管理許可でレストランをやってみると良いかもしれません。ハードの施設が古いこともおそらく活かせると思うので、中の改装を条件に公募をかけたなら希望者が集まると思います。
- (伊藤会長) 良い建築物ですね。
- (栗田委員) 安城市がこういう施設を持っていること自体が、文化的な資産を大事にしているというPRにもつながると思います。絶対に活かすべきかと思います。そのためには、公園の区域に入れて、Park-PFI で仕掛けるという手法が、特別条例でやるよりも価値があるという印象を持ちました。

- (青木委員) 私も、自然が本当に豊かな公園で、私が好きな公園の形をしていると思いました。栗田委員がおっしゃったように、木がそれぞれの成長を妨げあっている部分は、少し間引いたりしながら、より一本一本が元気に育つように手入れしてあげることが必要だと思います。あと、調整池の活用が課題になっていますが、見せていただいた時にカワセミが留まっており、自然にふれあえる素敵な場所だと思ったので、池のそばに入っていけるように改修するぐらいで、もっと素敵になると思いました。夜は、暗くて少し怖いと思ったので、夜もお散歩できるような、雰囲気の良いライトを設置すると、もう少し皆さんに来ていただけるようになると思います。あと、テニスをしている方がたくさんいらっしゃったので、そのような方が少し休憩していけるコーヒースタンドやパン屋などの施設が公園の中に1カ所あるだけでも、もっとたくさんの方に愛される公園になると思いました。
- (伊藤会長) やはりカフェのようなものがあつた方が良いですね。テニスコートはどれぐらいの稼働率がありますか。壊しても良いのか、ニーズがすごくあるのか知りたいです。
- (事務局) テニスコートはほぼ毎日稼働しています。
- (水野委員) ここには、テニスコートのほかに、レストハウスや市民プールもありましたが、市民プールは移転し、レストハウスは壊しています。柿田公園の管理事務所にある、エコきちは元々、秋葉公園のレストハウスで環境活動をしていましたが、レストハウスの取壊しと共に、柿田公園に移動してもらいました。
- (伊藤会長) 時代のニーズに合わせて、変わっていけば良い場所であれば、将来像に合わせて変えていくことはありかと思えます。
- (吉武委員) 樹木とか自然環境に関する話として、比較的早く生育するような樹木が中心に植えられているため、適切に数を減らしていくことは重要かと思っています。植物によってしっかりと陰があることは、生物の観点からすると非常に貴重な場所になるため、そのような場所は残していくべきだと思います。また、起伏があることと合わせて、通り抜けを抑制するような低木が園路沿いに多く配置されており、これが起伏と相まって閉鎖感を出しているため、低木の植栽管理も見直すべきかと思えます。
- (伊藤委員) 植生としては十分良い環境で、間伐などをしながら形成していけば、もっと魅力が増すということですね。実は、私が学びの森からインスピレーションを受けたのが秋葉公園であり、子どもが遊具のない芝生広場で遊ぶ環境が合っていると思いました。この公園も、学びの森のような屋内施設があると、屋内と屋外がうまくつながると思います。また、屋内木製遊具があると、ガリバーで遊んだ思い出が引き継がれる形になると思います。そして、この屋内施設の一面にカフェでテイクアウトできる場所があり、しっかりご飯を食べたいときには安祥閣のレストランに行くイメージです。このように、この場所ですごしたいかを事務局の方でもイメージしてほしいです。どうしても、施設の設置、

ハード整備に重きを置いてしまうことが多いですが、それよりも、どういう人たちが来て、どのように使われると、お金を落として楽しい時間を過ごすことができるか、を描けると良いなと思っています。そうすると、自ずと形が見えてくると思います。

(近藤委員) 横浜市青葉区の荇子田太陽公園という街区公園は、起伏のある地形にあり、公園自体も小高い丘にあって、斜面地を有しています。その場所を住民の方がバラ園にしており、常日頃から手入れをしています。バラが咲く頃は、すごくきれいな空間になっていて、遠方からも見に来る方がいるほどです。住民の手によって緑が守られ、育成されている公園はほかにもあると思いますが、荇子田太陽公園が良いなと思ったのは、公園の中に住民のための居場所を住民の手でつくりあげたところです。この公園は、元々、樹木があまり手入れされておらず、鬱蒼と茂って、怖くて子どもが遊びに来ないといった課題がありました。しかし、バラを育てて方が中心となり、自分たちの公民館となるような場所をつくり、活動したり、遊んでいる子どもの見守りがしたいと提案されました。横浜市には、このように市民からの提案を受け付ける「まち普請」というシステムがあり、それを活用して、市から助成を受け、最終的には集いの場所がつけられました。Park-PFIも選択肢としてはあると思いますが、常日頃から利用されていたり、愛されている場所であれば、横浜市の事例のように、市民と一緒に何かつくっていく空間もしくは仕組みがあっても良いかと思っています。

(伊藤会長) それは、バラ園がすごいのですか、それとも、市民が管理できるように開放されていることがすごいのですか。

(近藤委員) 私がすごいと思った点は、バラ園をきっかけにして、この公園をもっと活用したいと住民が手を挙げ、それに具体的に取り組んでいるという、その仕組みがすごいと思いました。

(伊藤会長) バラ園などのように好きな人たちを感化するような取組みは良いと思います。栃木県のあしかがフラワーパークや三重県のなばなの里、浜松のはままつフラワーパークのように、来場人数が増えているところの事例は、事務局でも勉強した方が良くかもしれません。

(水野委員) 先生が言われたのは、現在の緑を残しつつ、緑のリニューアルを住民の皆さんとやっていくイメージですか。

(近藤委員) はい。そのイメージです。全体でなくても良いと思います。これだけ利用されており、早朝にも来園しているとお話なので、そのようなことも可能だと思います。

(水野委員) 特定の利用者が多くなる公園にするのか、もしくは、いろいろな方に来てもらう公園にするのかの判断が難しいと考えています。

(伊藤会長) もし、Park-PFIを考えるのであれば、事業者が住民参加やガーデニングのノウハウがある人を集めて、どこにもないようなものを行うことを考えられます。

- (近藤委員) マスタープランとか総合計画のコンセプトに、「みんなで」ってすごくたくさん出てきますよね。そのようなことでしたら、みんなでつくるための具体的な仕組みをつくっても良いと思います。
- (伊藤会長) 最後に、秋葉公園はいろいろな可能性を探った方が良いと思います。地域の皆さんが参加する地元向けの整備にするのか、駐車場を設け、Park-PFIにより広域から人を呼び込むのか、将来像をどちらの方向にもっていくのかは、事務局でも検討してください。

3. 堀内公園

(伊藤会長) 僕の最初の印象ですが、これこそ安城の公園で世界に発信していけるポテンシャルがあるかなと思いました。なので、堀内公園ではなく、安城公園とか安城〇〇公園とか、まず名前から変えた方が良いのではないかと思いました。

(水野委員) 愛称をつけることはできると思います。

堀内公園に名鉄の駅があるにもかかわらず、いまひとつ活用できていないことが課題です。それから、堀内川の桜や園内の池が活用できていません。また、ふわふわドームという人気のある遊具の位置が他の遊具と離れていることも課題です。基本構想をつくるにあたり、物語があって、自慢できるような公園にしたいと思っています。

(伊藤会長) 将来像の話に移っていきたいと思います。

(吉武委員) 年代に合わせて随時更新してきたと伺い、なるほど、と思いました。全体のコンセプトがよく分からない、ということが率直な意見です。それと、周辺の市町に負けない公園にしたいというときに、この公園の顔となるような空間がないことが問題だと思っています。何を一番の推しにしていくのかということと、それに対してどのような景色をつくっていくのかを考える必要があります。駐車場がいくつか分散されており、動線が不明瞭であるため、入口の決めとなる空間が分かりにくくなっています。そこを整理し、入口の決めとなる形を整えていくことが大事だと思いました。

(伊藤会長) どの辺が公園の顔となりそうですか。

(吉武委員) 私が車で行った時は、ふわふわドームのところから入ったので、何か楽しそうな公園だなという第一印象を受けました。しかし、実際にそこから一番奥の駐車場に入っていった時に、緑がたくさんあるけれども、その後の期待感がなくなっていました。その後、駐車場から橋を渡ったところに広がる池から受ける第一印象は、オリジナリティになると思うので、桜も含め、そこは可能性があったと思います。

(伊藤会長) 池を中心にうまく作っていくと、魅力が増すかもしれないということですね。この池には、ボートなどのアクティビティはありませんが、あくまで個々で池を見ながら過ごす場所があることが重要ですかね。

(吉武委員) そうですね。最近、テラスのようなところが整備されましたが、あのような形でも良いと思います。

(伊藤委員) アプローチが重要であること、池のほとりでゆっくり過ごせる場所があるような感じです。

(青木委員) これだけ大きい公園なのに、飲食できるスペースがないことが残念であると思いました。お昼ごはんを食べたり、コーヒーを飲んだりとか、ゆっくりできる場所があるかないかで、行こうと思うか思わないかというのは、差が出てくると思います。東山動植物園も園内でお酒が飲めるようになってから、来場者数がすごく伸びたという話もあるため、大人も楽しめる施設がもう少しあると良

と思います。メルヘン号が園内の端にありますが、それが園内をぐるっと巡るようになると、他のエリアとの一体感ができ、一日楽しめる公園になるため、より魅力が増すと思います。個人的には、メリーゴーランドと観覧車がレトロな感じですごく素敵だったので、そのレトロ感を残すことと、幼少期の思い出を大切にしながら、大人になっても楽しめる場所が変わっていいと思います。

レトロなメリーゴーランドや観覧車は、初恋のデートスポットにもなると思います。

(伊藤会長) 安城市の人たちが恋愛を育む公園ということで、すごく良いと思います。観覧車やメリーゴーランドが公園にあることはすごいことです。メルヘン号も園内をぐるっと回した方が良いですね。いろいろな思い出になるものがここにあると、ストーリーがいろいろ描けると思いました。

(近藤委員) 私も皆さまと同じように、コアがないと感じたところです。反対に、水資源は非常に豊かなのですね。全部の公園に水景施設があり、そこが共通していることで、差別化がしにくくなっていると思いました。堀内公園のポテンシャルを考えると、駅が近いというのは非常に良いと思います。駅を学生も多く利用しているのであれば、中高生がメインに使うような公園という位置づけもあって良いかと思います。練馬区にある石神井公園の公共施設の跡地について、近くの高校に通っている学生と先日ワークショップをしたのですが、非常に面白かったのが、彼らはその石神井公園を部活動や趣味の一環として使っていることです。演劇やミュージカルなどの練習をするために、大きな声や音を出したいが、そういうことを許される室内空間もないので、ステージのようなものがある、大きな公園に行ってやっているという話をしていました。もう少し大きくなった年代のやりたいことや思い出づくりなどに使われる空間も含まれると良いと思います。

(伊藤会長) そういう空間になると良いな、と皆さんの話を聞きながら思っています。私自身もこの公園に行った時に思い浮かんだものは、デンマークのコペンハーゲンにあるチボリ公園です。コペンハーゲンの中心にあって、テーマパークとしていろいろな遊具もあるのですが、遊具がすごいのではなく、市民の人たち、例えば先ほどミュージカルをやりたい子たちがやれるステージがあるとか、別の場所ではジャズのプロの人たちが演奏しているとか、また別の場所では何か違うイベントをやっているとか、皆さんが主人公になれるようなコンテンツがあります。チボリ公園に行くと、常にいろいろなイベントをやっていて、自分も参加できるかもしれないため、コペンハーゲンの人は年パスを持っていて、いつも週末になると行くぐらいです。市民の人たちが常に使っているところは、外から来る人たちにとっても魅力的なので、観光客がみんな来るわけです。結果的に、世界的なチボリ公園になっています。わかりやすい例を言うと、ディズニelandがあります。ウォルト・ディズニーも当時ここに来て、こういうテーマパー

クをつくりたいと言ったモデルがチボリ公園です。そういうポテンシャルが堀内公園には十分にあって、元々あるものを活かしながら少し改変し、ステージを大中小とつくりながら、食事ができる場所や皆さんが言われたような見せ場をつくっていけば、十分なポテンシャルがあると思います。安城というよりは、この東海3県でジブリパークか安城パークみたいなところに持っていけるのではないかと思います。あと、音の話はすごく大事だと思います。BMXやスケートボードなどの音を出すアーバンスポーツができる場所は、この地域にないですよ。各務原にわたしのPARKという公園が昨年末にでき、BMXなどをやる場所をつくっただけなのですが、全国から多くの人が来ています。ここならつくれるのではないかと思います。

(水野委員) BMX やスケートボードは、確かに魅力はありますが、行政の立場で言うと、音による苦情が心配です。

(伊藤委員) 要はターゲット層をどうするかであると思います。子どもたちを遊ばせるのは、周辺に別の良い公園もあるので、そちらをメインとし、中高生より上の人たちのためにアーバンスポーツ施設をここで考えても良いかと思います。この機会に改変してストーリーを組み直しても良いのではないのでしょうか。

(栗田委員) 皆さんの話を聞いていると、極端に遊園地方向に寄っても面白いかと思います。子ども向けの昼間の演出は今のままだでも良いと思いますが、夜はトロピカルパレードなどを開催し、空間を思い切り大人向けに振っても良いと思います。ヨーロッパでは、これぐらいの規模感で移動遊園地のようなものを、ビールを飲みながら楽しめます。もう少し変えると、大人でもメリーゴーランドに喜んで乗ると思います。音楽も昼間は子ども向けの曲調にして、夜はちょっと大人向けの曲調にするだけで、カップルはすごく来ると思います。メリーゴーランドも、1基だけ当たりのような、これに乗れたらすごいと映えるような演出をすると、昼間も子どもがそれに乗りたくて並びに来るし、電車を利用した来園者も来ると思います。もう少し、磨いてあげるだけですがよく良くなると思います。屋内型の遊び場が小さくて残念であるため、ここに学びの森のような屋内型の遊び場があっても面白いと思います。あと、運営の方法として、さすがに1回100円のような売り方は見直しても良いと思います。最近なら、1時間いくらのように時間制で自由に使うシステムもあります。時間使用でもう少し単価を上げて稼ぐ、ということを戦略的にやってみても良いと思います。

(水野委員) 近隣市も同様の金額で運営しているため、値上げは難しいと思います。

(栗田委員) この金額は、交通公園の流れによるものだと思います。昭和の交通事故が多くあった時代に、交通ルールを守らせるため、低額で利用できる遊園地調の交通公園ができた背景があります。この延長線上で、堀内公園も現在のサービスを提供しているものと思いますので、もう少し時代に合わせて金額を変えても良いかと思います。逆に、お金を出しても良いので楽しめる施設に作り変えていけば、少しの演出でお金が取れるようになるかと思っています。観覧車も冷

暖房をつけるだけで、2周回ってもいいと思う人がでてくるかと思います。また、乗り放題券のようなものもあれば面白いと思います。そういう部分で差別化すると、みんなが来てくれるのではないかと思います。

(伊藤会長)

そうですね。ジブリパークはすごく高いですが、それでも人が来ています。だから、少し高くなっても良いと思うので、他に無いものをここで作ることが良いと思います。

4. 川島河川敷公園

- (伊藤会長) 各務原にできたBMXの公園は河川敷につくられています。音を考えた場合は、堀内公園よりこちらの公園の方が良いですね。日本代表が来るぐらいのストリートパークにしてしまえば、多くの人が来ると思います。土手のところにみんな並んで観戦できれば良いですね。
- (吉武委員) 私も、アーバンスポーツは環境要因的にここがやりやすいと思いました。今ならある程度の人には来ると思いますが、寂れたところでやりたいかという問題がありますので、場所は慎重に選んだ方が良いと思います。デンマークのコペンハーゲンのスーパーキーレンでは、カラフルなアスファルト舗装を使い、見た目がかっこよくなっています。そのような部分も、十分に配慮する必要があると思います。
- あと、進入路を広げることと、堤防の内側に何か拠点となるような施設を設けることができると、ここをもっと活用できる可能性が出てくると思います。ハード面において、しっかり手を入れるかどうかを選択しないといけないと思いました。
- (伊藤会長) スーパーキーレンは、ストリートスポーツやスケボーをやっている人たちが常にいて、ものすごく流行っていますね。
- (青木委員) 私もここはスポーツパークにするのが良いと思います。ただし、ゴールネットを置いてあるだけではなく、見た目もデザインされた場所になっていることが必要だと思います。ここであれば、他と比べて音の影響が少ないため、BMXなどの大きい音で演技をするようなことがやれると良いと思いました。秋葉公園のテニスコートもこちらでたくさん増設すれば、秋葉公園を利用されている皆さまから意見を言われることはないかと思います。このような形でスポーツが充実するような公園にできると良いと思います。トイレやシャワールーム、ロッカールームのような更衣室もあると本当は良いと思うのですが、そのあたりの設備をどこに置くのか、というところが課題だと思います。
- (伊藤会長) 河川敷の施設として、例えば水防の歴史とか、目的はスポーツじゃないという体で建物をつくっているところがほかの地域であると思います。要は、ものの言い方かなと思います。ほかの用途、目的でも良いので、作って、それが結果的にスポーツ施設のシャワーとかお手洗いとかになるだけでも全然違います。
- (近藤委員) 私もここはスポーツ専用の公園にすると良いと思っていました。ほかの委員の方がおっしゃったことに共感しますが、少し視点を変えて、安城市にはバーベキュー場がなく、市民の皆さんからバーベキュー場が欲しいという要望があるとお聞きしましたが、この河川敷につくることはできるのですか。
- (事務局) 豊橋河川事務所が所管しているため、協議が必要になります。
- (吉武委員) 堤外地なので施設を設置できないということもあると思いますが、火気の使用自体はどうですか。
- (事務局) 条例では、公園内での火気の使用を禁止しています。

(栗田課長) ルールを変えていくことを考えてはいかがですか。

(伊藤会長) 先ほどの各務原のわたしのPARKは、河川敷でBMXとバーベキューができるような空間になっています。だから、やりようなのかもしれません。

5.まとめ

(伊藤会長) 何となく方向性が定まっていますので、最後に4公園のまとめとして1つだけお話しします。各公園の皆さんの議論の中で、特徴が明確になってきたと思います。方向性がはっきりしているので、まとめていけば、安城市以外にない公園が4つ生まれるのではないかと思います。それをつくり上げていくのが我々、策定委員会の仕事だと改めて認識しました。本当に忌憚のないご意見をいただきありがとうございました。